

人文学部の
今を伝える

人文ニュース<アゴラ>

45巻1号
山形大学人文学部
2013.4.5

Agora

“AGORA”とは、ギリシャ語で“広場”という意味です。

人文ニュース 第45巻1号 <http://www-h.yamagata-u.ac.jp/agora/index.htm>

Question 画面右下の二人の子供は何をしているのでしょうか？（答えは、8ページにあります。）



ホガース『勤勉と怠惰』第11図『タイバーンで処刑される怠惰な徒弟』(1747年)

舞台はイギリス18世紀。「タイバーンのお祭り」と呼ばれた公開死刑を描いた銅版画です。お祭りなので、店は閉まり、奉公人には休みが出されました。画面中央で死刑囚の最後の言葉を載せた瓦版を売る女がいますが、内容は嘘っぱち。初期ジャーナリズムは、捏造が横行するフィクションの世界でした。

出題：

人間文化学科 中村隆教授（イギリス文学）



祝！第40回 模擬裁判公演

模擬裁判実行委員会では、毎年裁判を模した劇の公演を行っています。

テーマ選びから、脚本、演出にいたるまですべて学生が行います。音響、照明、大道具、衣装、メイクなどを駆使して「裁判」をよりドラマティックに表現することを心がけています。

40周年の節目となる2012年の公演では「TRAVAIL—過労自殺損害賠償請求事件」と題し、過労自殺を取り上げました。長時間労働や、それに伴う労働者の過労死が問題になっている昨今、多くの方に「働く」ことについて考えてもらいたいと思い設定したテーマです。ふだんはわきあいあいと飲み会の多い(!)私たちが、重たいテーマに果敢に挑み、好評を博しました。

法経政策学科4年
菅野郁美さん



公演前の練習風景



公演当日の様子



山形大学人文学部facebook
ページ開設いたしました！
ぜひご覧ください。

人文学部2号館の耐震・改修工事が完了しました。



明るい外壁になった2号館



新しくなった院生研究室

特集 ナスカだより

山形大学の校庭に描かれた地上絵

TBS 系「世界ふしぎ発見!」にて、人文学部生5名が山形大学の校庭にナスカの地上絵を制作した場面が特集されました。

人間文化学科 坂井正人 教授

山形大学の校庭に描かれたハチドリとキツネの地上絵が、12月15日に放送されたTBS系「世界ふしぎ発見!」で紹介されました。ミステリー・ハンターの竹内海南江さんが、地上絵の制作場면을収録するために山形大学にられました。制作したのは人文学部人間文化学科の学生5名です。

校庭に描かれたハチドリの全長は約100メートル、キツネの全長は約20メートルで、どちらもユネスコの世界文化遺産に登録されたナスカの地上絵（南米ペルー共和国）とほぼ同じ大きさです。地上絵の大部分は16世紀以前に制作されたことが分かっていますが、近年になって描かれたものも少なくありません。



ミステリー・ハンターの竹内さんを囲んで



山形大学の校庭に描かれたハチドリの地上絵

21世紀になってから制作されたキリスト教の聖母像の地上絵に、2008年の現地調査で出会いました。この地上絵を描いた人物に、地上絵の制作方法を質問したところ、歩測と目視で距離と方向を測り、地面に片足で絵を描いたと教えてもらいました。この方法で制作した地上絵は、足の横幅に相当する約20cmの太さの線で出来ています。これと同じ太さの線で、大部分の動物の地上絵(BC100～AD500年頃)は描かれています。今後、更なる検討が必要ですが、現代の地上絵と昔の地上絵が類似した技法で制作された可能性は否定できません。

地上絵の制作方法を解明するためには、実際に描いてみる必要があります。ナスカで教えてもらった方法で地上絵が描けるのかを試してみましたところ、ハチドリの地上絵はわずか50分程度、キツネの地上絵は15分程度で完成しました。ただし、実際に描いてみると、地上絵の制作方法の細部について不明な点が見つかったため、まだまだ実験が必要です。もし山形大学の校庭で地上絵を描いているのを見たら、是非地上絵の制作実験に参加してください。

認知心理学者が地上絵の謎に迫るとは

人間文化学科 渡邊洋一 教授

図1をご覧ください。なにやら「黒い断片」が「白地を背景に」散らばっているように見えます。それから図2を見てみてください。グレーの直線の「背後に」、文字Bが7個、さまざまな向きで配置されていることが図1よりも「わかりやすく」なります。このような現象について認知心理学では、見えない部分を「補完」する知覚の働きとか、同じ形が反復する「刺激の冗長性」とか、パターン認識における概念駆動型のトップダウン処理というような概念を用いて説明しようとしています。

基本的には、「見る」「聞く」「触る」「嗅ぐ」といった知覚・認知の働きは、自分を取り巻く環境がどういふものであるのか、何が起きているのかという謎を解く過程、おおげさにいうと問題解決の連続したプロセスということが出来ます。そのプロセスを解明するのが認知心理学の目的です。

図3は、衛星写真から抽出したナスカ台地の地上絵の一部です。ナスカ台地の地上絵は千を越えますが、互いに重複して描かれています。

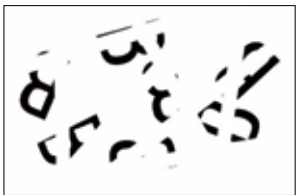


図1 黒い切れはし

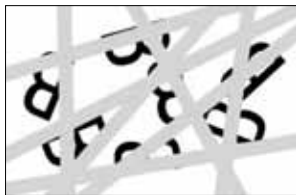


図2 かくれていた文字

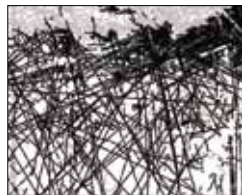


図3 地上絵の分布



ナスカ台地にて、阿子島功山形大学名誉教授と筆者。2012年9月撮影。

空から見たその姿はまるで図2の拡大版です。謎に事欠きません。

しかし実は私の主たる研究アプローチは空撮ではなく地上にこそあります。私の関心はナスカの地上絵を作った人々の認知の仕方にあるわけですが、彼らが空を飛ばなかったという点は、今や地上絵研究者の共通理解といえるからです。

最初の問題にかえて、目に見える対象や環境の謎を解こうとして、手がかりがたりないとき、人はどうするでしょう？対象を回すなど動かしてみるか、自分が移動して見方を変えようとしています。基本的には三次元空間を認知してその中を動きまわっている生き物です。このような考え方から、人々がナスカ台地をどのように動き回ったのか、どのような枠組みのもとで地上絵の配置や大きさを決めたのか、ここで何をしたのかという謎に迫ろうとしています。

人間文化学科は平成25年度より、教育コースを5コースに再編します！

多彩な研究分野がより効果的に連携した教育のために
そしてまた、グローバル人材の育成機能を強化するために

従来のコース編成

共生人間学コース	文化環境学コース
地理学、社会学、心理学、哲学、人間情報科学、言語学(日本語学・英語学)	文化人類学・宗教史、歴史学、アジア文化論(日本文学・中国文学)、欧米文化論、芸術文化論、比較文化・表象文化論

新しいコース編成

地域・人間コース(地理学・社会学・心理学・人間情報科学)	地域、社会、人間の間に生じる問題について、科学的な手法での解明を目指す
言語コース(言語学・日本語学・英語学)	人間の情報伝達や思考の手段である言語について考え、その言語のとらえ方や分析方法について学ぶ
文化動態論コース(歴史学・文化人類学)	歴史資料の読解やフィールド調査によって、人類が築いてきた社会・文化を通時的・共時的に分析する
文化解釈学コース(文学・芸術・表象・哲学)	文学作品や芸術作品、哲学から映画や現代アニメまで、言葉や視覚イメージを通じて表現された人間の多様な思考や感じ方について考察する
グローバル文化学コース(比較文化論・欧米文化論・アジア文化論)	学問領域を横断して、欧米や東アジア地域の言語・文化・歴史・社会を包括的に考察し、現代の世界を主体的に考えて行くための知識と方法を学ぶ

たとえばこんな科目があります

実践英語、地図情報論、心理学実験、社会調査論、プログラミング演習、日英対照言語学講義、表象文化講義、映像学講義、現代応用倫理、現代中国論、日中文化交流史演習、日本現代文学講義、日本文化演習、アジア史史料講読、文化財調査実習、文化人類学実習、留学生活英語、時事ロシア語、…

新任教員紹介 新任の教員から、ごあいさつを申し上げます。



人間文化学科
哲学
千葉清史 准教授

千葉生まれで横浜育ち、大学・大学院と10年間京都で過ごした後、2001年より11年間ドイツのボン大学で研究を進め、昨年10月より本学部人間文化学科に着任いたしました。哲学ならびに基盤教育のドイツ語授業を担当しております。雪国での生活は初めてで、先の冬は毎日新鮮な体験の連続でした。山形は四季が美しいところだと聞いておりますので、ここでの春と夏の日々も今から楽しみです。

専門は西洋哲学で、特に18世紀ドイツの哲学者イマヌエル・カントの思想ならびにその現代における意義について研究しています。

カントは200年以上前の哲学者ですから、彼の主張の中には現在ではそのままでは通用しないものも多々あります。しかし、彼が提示した多くの理論枠組み・問題の立て方は、現在に至るまで強い影響力を持っており、また、初学者にとっては、哲学的に考えるとどのようなことなのか、ということを経験するための、依然として最上の事例の一つであると言えるかと思います。

哲学で重要なことは、昔の人が考えたことを学ぶことではありません。自分にとって重要だが、さしあたりは漠然としており曰く言い難いような問題意識・関心を一個の明瞭な問題へと仕上げ、さらにそれを自ら考察していけるようになる、このことこそ大切なのです。諸々の授業を通じて、学生の皆さんが、自分自身で問題を見つけ、考察を深めていけるようになるための手助けを提供していけるよう、努力していきたいと思います。また、私はドイツに長くおりましたので、興味がある皆さんには、留学や、外国生活の実態・方法・準備等についても紹介していきたいと思います。関心のある方は、お気軽に質問に来てください。

学問のススメ

地域に根ざした学びの広場 さあ、人文学部への扉を開こう。

人間文化学科

◇講義紹介

✧基礎講義(文化解釈学)

「基礎講義(文化解釈学)」は、文化解釈学コースの入門編として、おもに一年生を対象に開講されます。コースを構成する4つの分野(文学、芸術、表象、哲学)の担当教員が、ひとつの共通テーマに対し、各々独自のアプローチを試みます。授業を通して、コース全体の概要と各分野の研究手法の違いを知ってもらうことが目的です。平成25年度は「生と死」をテーマに、4人の教員が以下のような講義をおこないます。

①森岡卓司(文学)：誰も体験したことのない「死」について理屈で割り切ることは殆ど不可能です。だからこそ、そこには愛や倫理といった人文的な概念が入り込みます。日本近代文学の名作から、その様相を覗いてみましょう。

②元木幸一(芸術文化論)：生と死をめぐる美術史の3つの方法論からアプローチします。一つは図像学という何が描かれているのかを問う方法(キリスト降誕図をとりあげます)、二つ目は様式史といういかに描かれているかを問う方法(ルネサンス様式をとりあげます)、三つ目は機能論という美術がどのように使われるか、どのように働くかを問う方法(お墓の造形と機能)です。図版はヘールトヘンという画家の《キリスト



降誕図)です。可愛いのですが、それだけではありませんよ。

③石澤靖典(表象文化論)：物語や写真、視線などの表象空間(イメージされたもの)における「生と死」を考察します。おもな題材は、文芸における「作者」概念の死、近代市民社会における生の構造、写真による生前の姿の記号化などです。

④清塚邦彦(哲学)：人はみな死ぬという知識はどこから来るのか、生きていることの充実とはどういうことなのか等、生

と死にまつわる二、三の切り口に沿って哲学的な議論のサンプルを紹介します。

このように4つの分野がそれぞれの持ち味を生かして「生と死」という大きなテーマに取り組みます。本講義が文化解釈学コースの奥深さと魅力を知るきっかけとなることを願っています。

石澤 靖典 准教授

磯野 暢祐 教授

た、グローバリゼーションの名の下に忘れられがちな文化の多様性とその重要性を理解することの役に立つようになるのである。

「フランス語演習(中級)」は基盤教育課程や教養課程で1年間フランス語を学んだ学生を対象にして、初級文法の確実な修得と中級フランス語への足がかりになる力を養成することを目的としている。最初数回の授業では、フランス語文法の要とも言える動詞の活用を徹底的に復習するために、毎回B4版二枚いっばいに書き込む練習を課す。小学生が漢字を覚えるのに、書き取り帳のマス目を埋め込むがごときである。数週間の後には動詞の体系が身に付いている。並行して簡単な原文に接したり、適宜中級用の教科書を使ったりしつつ、文学作品や論説文に挑戦できる基礎力を養成すべく授業を行う。

◇演習紹介

✧フランス語学演習(中級)



外国語を学ぶことは、どこか習字やピアノなどの習い事に似ている。どんなに頭で理解しても、何度も練習して習慣的なものとして「体に覚えさせる」ことが必要である。退屈で、少しも知的ではないこのような訓練を経て初めて、いわゆるツールやスキルなるものにもなる。ま

◇研究紹介

※インタビュー形式にてご紹介いただきました。

✧福野 光輝 准教授(社会心理学)

——社会心理学といっても広いですが、関心は?

福野：交渉とか対人葛藤、公正感に興味があります。一見、ばらばらですが、利害が対立するような状況で、人々が何を考え、どう行動するのかを知りたいという点が共通していると思います。利害の不一致をどう解決すべきかという問題も、実際にどう解決しているのかを知ることからみえてくると思っています。

——うーん、具体的には?

福野：ひとつ挙げると、対人葛藤の解決は、実際にはもっと間接的に行われているのではないかと、ただだからこそ、関係維持や相手の行動変化など複数の目標を達成できるのではということを示せればと考えています。対人葛藤に関する研究をみていると、その解決観は、対立を表面化させ言いたいことを言い合うか、そもそも対立がないかのように振る舞って回避するかのどちらかしかないように見えるのですが、違うの

ではないかと。実際には、その中間的なというか、葛藤が生じていることを互いに認識しつつも顕在化までいかない暗黙の葛藤状態というのがあり、沈黙や婉曲的な意思伝達など間接的な方略が解決に向けて用いられているように思います。

——うーん、何がおもしろいの?

福野：…で、ですね。人間は基本的に利己的ですが、他方で、交渉したり公正にこだわったり、他者と折り合いをつけながら生きています。短期的な自己利益が最大化されなくても、まあいいかと思えるのはなぜなのかに興味があるので、利害が簡単に両立しない場面での人々の行動や心理過程の分析をおもしろいと思えるのかもしれません。



法経政策学科

◇講義紹介

✧労働法

労働法とは、会社(使用者)と働く人(労働者)の間の労働をめぐる関係を取り扱う法です。労働法の授業では、美人・イケメンのみの採用は許されるのか? 子育てや介護をしても転勤命令を拒否できないのか? ダメな社員は即クビか? といった職場での問題を取り上げます。また、正社員と非正社員との間でなぜ深刻な格差が生じているのか? なぜ過労死するほど働いてしまうのか? といったやや広い観点からの考察が必要な問題についても、受講生と一緒に考えていきます。このように、個別の労働問題だけでなく、雇用政策についても、現行法規制の課題と改革の方向性を検討します。

労働法に限りませんが、法律の条文は抽象的でわかりづらいので、具体的な設問を通して、労働法の基本的な枠組み、発想・理念を解説

◇演習紹介

✧行政学演習

私達の所属する行政学ゼミでは、集団討論や文献講読、研究発表を通して、社会人に必要な知識やスキルを高めることができます。特に集団討論は、公務員を目指している人にとってとても役立つはずです。また、文献講読では、文献から知識を得られるだけでなく、文献の概要をパワーポイントにまとめて発表することで、プレゼンテーション能力を養うこともできます。実際、私もこの活動を通して、苦手意識のあった人前での発表に自信を持てるようになりました。研究発表については、自分でテーマを設定し、調査・分析を行い、最後には発表会を開催します。研究していく中で、実際に県庁や市役所等の関係機関にヒアリング調査に行くため、机上の調査だけでは得られない実態を知ることができます。また、調査していく上での問題点や疑

◇研究紹介

✧鈴木 均 教授(ヨーロッパ経済論)

継続的にEU経済を景気循環との関連で研究を続けてきた。さらに21世紀のEU経済を国際金融危機のEU経済の影響、欧州ソブリン危機の面から研究してきた。

1999年にEU経済は単一通貨ユーロを導入し、市場統合の完成を踏まえて、「一つの市場、一つの通貨」のスローガンに、物、金、サービス、人の自由移動を保障する「国民経済化」を果たしてきた。2008年のアメリカ発の国際金融危機の影響をEU経済ももろに受け、09年にはマイナス4%強の成長を被った。EUは財政拡大によって経済拡大を果たしたが、10年にはギリシャのソブリン危機(財政破綻)が開始され、アイルランド、ポルトガルにも拡大し、さらには、スペイン、イタリアへの拡大の兆しも見えた。EUは急遽、それぞれの国へ財

阿部 未央 准教授

しています。といいつ設問によっては明快な答えがない(ケースによって答えが異なる)こともあります。そのようなときは、通説的な見解や裁判例、それらへの批判・問題点を提示して、中立的な立場から説明するよう心がけています。素直な受講生(!)がわたしの考えに

染まってしまわないように。労働法を通じて、各受講生が自身の頭で考え説得力ある論拠を示して自分なりの結論を導けるようになる手助けを少しできればと思っています。



平成25年3月卒業 小松 奈里紗さん

問については、金子優子先生や先輩方がアドバイスしてくださるのでとても心強いです。発表会を終えた時は、やり遂げたという自信と達成感を味わうことができました。

私は、是非多くの学生がこのゼミに所属し、学生のうち



に社会人になるための予習をたくさん経験してほしいと考えます。成長でき、自分に自信がもてるようになる、それが行政学ゼミです。



政資金支援の準備を整え、中央銀行であるECBも国債買い切りなどで流動性供給を果たしている。12年10月以降、欧州ソブリン危機は小康状態を保ち続けている。ECBの資金供

給は時間を買う政策でしかなく、南欧諸国の財政の健全化や労働市場の改革などの構造改革を推し進める他にない。この点を継続的に研究してゆくことになる。

平成24年度 卒業生進路状況

平成25年3月6日現在

学 科 名		卒業 予定者数	進学 予定者数	その他	就職希望 者数(A)	就職内定者内訳				就職率 B／A
						企 業	公務員	教 員	計(B)	
人間文化学科	男	24	4	4	16	11	1	0	12	75.0%
	女	77	5	12	60	41	6	1	48	80.0%
	小計	101	9	16	76	52	7	1	60	78.9%
法経政策学科	男	127	1	17	109	56	42	0	98	89.9%
	女	87	1	9	77	48	21	0	69	89.6%
	小計	214	2	26	186	104	63	0	167	89.8%
合 計	男	151	5	21	125	67	43	0	110	88.0%
	女	164	6	21	137	89	27	1	117	85.4%
	小計	315	11	42	262	156	70	1	227	86.6%

平成24年度卒業生就職・進学一覧

業種／就職先	人間文化学科		法経政策学科	
	男	女	男	女
建設業	2	3	3	1
岩通販売	1			
オノヤ		1		
セキスイハイム東北		1		
積水ハウス			1	
セキスイファミエス東北	1			
ナレッジライフ		1		
日本住宅			2	
裕幸計装				1
製造業	0	6	7	2
アイシオンAW			1	
伊藤電子工業		1		1
小松写真印刷		1		
精工		1		
でん六		1		
東北パイオニア		1	1	
ニクニ			1	
日信工業				1
ニチレイフーズ		1		
日本新薬			1	
ヤガイ			1	
山形カシオ			1	
山本製作所			1	
電気・ガス・熱供給・水道業	0	0	1	0
東北電力			1	
情報通信業	1	2	5	7
インフォテクノ朝日			1	
インフォメーション・ディベロプメント		1		
エヌ・ティ・ティ・ドコモ				1
ぎょうせい				1
ジュビターテレコム		1		
仙台放送			1	
中央出版	1			
TIS東北				1
東北インフォメーション・システムズ				1
トランスコスモス				1
NHK			1	
山形新聞社			2	
ユニテックス				1
YCC情報システム				1

業種／就職先	人間文化学科		法経政策学科	
	男	女	男	女
運輸業、郵便業	0	1	4	4
仙塩タクシー		1		
東北王子運送				1
新潟運輸			1	
日本郵便			2	
東日本旅客鉄道			1	3
卸売業、小売業	3	11	13	7
アーランドサカモト			1	
青木商店		2		
伊藤忠エネクス			1	
遠藤商事			1	
オーテック		1		
カメイ	1		1	
カワタキコーポレーション	1			
恒和薬品			1	
コメリ		1		
新晃工業				1
大商金山牧場			1	
タカムラ		1		
タカヤナギ			1	
ダンロップタイヤ東北		1		
ツルハ		1		
東京インテリア家具				1
東北マツダ				1
とみひろ		1		
トムカーナ・フーズ			1	
トヨタカーローラ福島				1
日邦産業			1	
橋本産業				1
ハビネット	1			
藤井産業			1	
東日本エコロジー			1	
丸果庄内青果		1		
モンベル		1		
八幡自動車商会				1
山形ダイハツ販売		1	1	
ヤマザワ薬品				1
ヨンキウウ			1	
金融業、保険業	3	8	10	12
あいおいニッセイ同和損保				1

業種／就職先	人間文化学科		法経政策学科	
	男	女	男	女
アフラック保険サービス		1		
岩手銀行		1	1	
北日本銀行		1		
きらやか銀行	1	1		1
七十七銀行			2	
しのめ銀行			1	
商工組合中央金庫			1	
荘内銀行	1		1	1
仙台銀行				1
損害保険ジャパン		1		
東京海上日動火災保険				1
東北労働金庫			1	1
日本生命保険				2
野村証券				1
北越銀行		1		
丸三証券			1	
三井住友海上火災保険	1			
三井住友銀行			1	
米沢信用金庫		1	1	
山形銀行		1		2
りそな銀行				1
不動産業、物品賃貸業	0	0	1	0
ニッパンレンタール			1	
学術研究・専門・技術サービス業	0	1	3	3
旭会計事務所				1
営家経営センター				1
田中事務所		1		
三澤経営センター			1	
山形県成人病検査センター				1
山田ビジネスコンサルティング			1	
リスクモンスター			1	
生活関連サービス業、娯楽業	0	4	3	0
浅井企画			1	
エイチ・アイ・エス		1		
シリウス		1		
ブライダルプロデュース		1		
ベガスベガス		1	1	
安田屋			1	
教育、学習支援業	0	5	2	7
家庭教師のトライ				1
進学会				1
スクールブルミエ				1
仙台進学プラザ		1		
東北大学		1		1
東日本大学				1
福島県立医科大学		1		
宮城大学				1
最上義光歴史館		1		
山形大学		1	1	1
ライフブリッジ			1	
医療、福祉	0	0	2	3
警察共済組合			1	
清永会				1
仙台市社会福祉協議会				1
日本年金機構			1	1
複合サービス業	1	0	0	1
JA山形市				1

業種／就職先・進学先	人間文化学科		法経政策学科	
	男	女	男	女
大学生協東北事業連合	1			
サービス業（他に分類されないもの）	1	0	2	1
アイ・タックル				1
昭栄美術			1	
三井物産ビジネスパートナーズ	1			
ムネカタホールディングス			1	
公務員	1	6	42	21
愛知県警察			1	
青森県警察			1	
青森県職員				1
秋田県八郎潟町役場			1	
綾瀬市役所				1
岩手県警察			2	
江戸川区役所				1
上山市役所		1		
群馬県警察			1	
気仙沼市役所			1	
寒河江市役所				1
七ヶ浜町役場			1	
白河市役所			1	
新庄市役所			1	
仙台国税局	1		2	1
仙台市役所			1	2
鶴岡市役所			1	
天童市役所				1
東京消防庁			1	
東北公安調査局			1	
栃木県警察				1
名取市役所			1	
新潟県職員			1	
東根市役所				1
福島県警察			1	
福島県職員		1	2	
舟形町職員		1		
北海道警察			2	
宮城県警察			3	1
宮城県職員		2	4	3
盛岡地区広域消防官			1	
山形県警察			1	
山形県職員			4	4
山形市役所			3	3
山梨県警察			1	
山形地方裁判所			1	
米沢市役所		1	1	
教員（高校・国語）	0	1	0	0
宮城県教員（高校・国語）		1		
大学院／進学	4	5	1	1
山形大学大学院社会文化システム研究科	2	1		
秋田大学大学院		1		
上越教育大学大学院教育研究科				1
東北大学大学院経済学研究科			1	
東北大学大学院文学研究科	1	1		
法政大学大学院国際文化研究科		1		
北海道大学大学院文学研究科	1	1		

これらの数値は3月6日現在のものです。データは随時更新しておりますので、山形大学キャリアサポートセンターホームページ内の進路状況のページをご覧ください。

学びの広場

人文学部では、市民のみなさまにもご参加いただける講演会など様々な活動を行っています。掲載している内容は多様な活動の一部です。興味を持った方はぜひ人文学部ホームページまたはfacebookページをご覧ください。

< 公開講座の予定 >

◇前期公開講座

人間文化学科

「19世紀西洋思想文化の宝石箱
—ニーチェからコナン・ドイル、フェノロサまで—」

日程 平成25年6月6日～20日(月・木)

私たちは、いまグローバル化の広汎な展開とアジア経済の急成長のただ中にいます。現在、アジア地域が抱えるさまざまな問題は、かつて西洋が直面した問題群の地球的規模への拡散と捉えることもできます。

一足先に近代社会を確立させた19世紀西洋における思想的営為や文化芸術には、あらためて学ぶべき価値が見出せます。これらを、哲学、文学、芸術思想などさまざまな分野から光を当てて、解き明かします。



◇後期公開講座

法経政策学科

「東日本大震災からの復興」

日程 平成25年9・10月を予定

東日本大震災によって破壊された地域と社会環境を再構築していくために私達には何ができるのか。その考察のための一助として、まずは、震災の引き起こした経済・社会的インパクトを確認し、大規模災害によって生じうる事態に対応する、また、そうした被害から復興するために必要な、新たな社会システムや法制度のあり方について探ります。



人文ニュース

外国人留学生懇談会を開催しました



12月21日(金)、人文学部では、外国人留学生及び教職員合わせて46名が参加のもと『人文学部外国人留学生懇談会』を開催しました。この懇談会は、人文学部に所属している外国人留学生が、快適な学園生活を送れるようにするため、毎年、人文学部独自で開催しているもので、留学生からは、毎年、様々な意見・要望等が出されています。出された意見・要望等については、その都度、学部として積極的に対応しています。

今回も、北川学部長のあいさつの後、阿部国際交流委員会委員長(議長)から、学生生活上の注意事項等について説明があり、その後、留学生の皆さんは5つのグループに分かれ、それぞれに指導教員と教職員も加わり、修学上の問題や日常生活で感じていることについて話し合いを行ない、留学生代表から各グループでの意見等について発表がありました。

山形大学人文学部—長井市連携協力締結三周年記念シンポジウムを開催しました



2月17日(日)に長井市において「山形大学人文学部—長井市連携協力締結三周年記念シンポジウム」を開催しました(主催:人文学部、共催:長井市、後援:山形県、長井市地区長連合会ほか)。

シンポジウムでは、平成22年1月に連携協定を締結した長井市と人文学部が地域の活性化を目指して取り組んできた「ながい市民未来塾」等の活動をまとめて刊行した『地方都市の持続可能な発展を目指して』について紹介するとともに(第1部)、長井市が元気な自治体として持続していくにはどうしたらよいかについて長井市の内容市長、人文学部の山田浩久教授、是川晴彦教授、下平裕之教授など5名のパネリストとフロアの市民のみなさんと語り合い、コーディネーターの北川学部長が総括しました(第2部)。

人文学部と長井市は今後も相互に有する人的・物的資源を有効活用し相互発展を目指して連携協力していきます。

人文学部と長井市は今後も相互に有する人的・物的資源を有効活用し相互発展を目指して連携協力していきます。

市民団体の活動に参加した学生の報告書を刊行しました



2012年度 授業「地域づくり特別演習(二)」報告書

昨年5月から7月にかけて、人文学部の9人の学生たちが五つの市民団体の活動に参加した記録を、このほど『NPO体験記:助け合い、支え合う地域を目指して』として刊行いたしました。

これは「地域づくり特別演習(二)」という授業によるもので、学生たちは東北大震災の復興支援や市民活動支援、国際協力、障がい者支援、日本語教育などの活動に参加した内容を報告するとともに、各団体の活

動目的、内容について(はなはだ僭越ですが)分析や提言をおこなっております。

ご関心のある方にはお送りいたしますので人文学部・松本までお知らせください。なお学生向けには人文棟1階の多目的室にて配布しています。

法経政策学科 松本邦彦 准教授

表紙のQuestionの答え: 男の子の手が男(パン売り)のポケットに伸びています。子供たちは元気に仕込まれたスリです。当時のロンドンには、子供のスリ集団があふれていました。

人文ニュース 第45巻1号

○発行/山形大学人文学部 ○編集/人文学部広報委員会 阿部未央 渡辺将尚 ○発行日/平成25年4月5日
〒990-8560 山形市小白川町1-4-12 電話023-628-4203(人文学部事務局)
<http://www-h.yamagata-u.ac.jp/agora/index.htm> E-mail: jisoumu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

※本学部の最新情報については、ホームページをご覧ください。 <http://www-h.yamagata-u.ac.jp>
※昨年度で退職・転出した教職員、今年度の新任教職員のご挨拶は順次ホームページに掲載する予定です。

